



## 苫小牧市との津波一時避難施設協定の締結について

2020年8月28日

苫小牧埠頭株式会社

北海道クールロジスティクスプレイス株式会社

苫小牧埠頭株式会社および北海道クールロジスティクスプレイス株式会社（両社ともに代表取締役社長 海津尚夫）は、苫小牧市との間で「津波一時避難施設としての施設の使用に関する協定」を締結しました。この協定は、津波発生時に地域住民ならびに港湾で働く皆様に、北海道クールロジスティクスプレイス(株)が建設・保有し、苫小牧埠頭(株)が運営を担う温度管理型冷凍冷蔵庫「北海道クールロジスティクスプレイス」を一時的な避難施設として使用していただくことを内容とするものです。

「北海道クールロジスティクスプレイス」は、2020年4月に苫小牧港東港において竣工した鉄筋コンクリート造5階建ての道内最大級の冷凍冷蔵庫です。津波等の災害発生に備え次のような機能を備えております。

- 気象庁からの津波警報を受信すると、周辺に警報発令のアナウンスが流れ、2か所の入口においてフラッシュライトが点滅し避難を誘導
- 休日や夜間など入口が施錠されている場合でも、津波警報受信と同時にドアロックが解除され、建物内に避難可能
- 一般の建物に比して特に耐震安全性の高い構造体になっており、敷地周囲のマウンドが防波堤として津波の力を低減
- 立体自動倉庫は免振装置を完備
- 地上約36mの高さにある屋上階には最大1,700人が避難可能
- 72時間電源を供給できる非常用発電機などの主要設備は3F以上に配置

苫小牧港西港に所在する苫小牧埠頭(株)の本社ビル「ハーバーFビル」は2015年3月に既に苫小牧市から津波一時避難施設として認定を受けており、今次の協定締結により苫小牧港の東西両港において地域の皆様に安心・安全を提供することが出来ました。

苫小牧埠頭(株)および北海道クールロジスティクスプレイス(株)は、今後とも、苫小牧市をはじめ苫小牧港にかかわる行政機関、港湾関係の皆様とともに苫小牧港の危機管理機能の強化に貢献してまいります。

以上



### 【施設概要】

建設地	苫小牧市弁天1番地(苫小牧国際コンテナターミナル隣接地) －苫小牧東港に立地、新千歳空港に近接、高速道路、札幌圏、苫東産業地域と連携
規模	敷地面積 28,441 m <sup>2</sup> 建築面積 4,144 m <sup>2</sup> 延床面積 14,738 m <sup>2</sup>
構造	鉄筋コンクリート造、地上5階建(倉庫は1～4階)
収容能力	20,200t うち冷蔵 7,500t、冷凍 7,700t、冷凍・冷蔵切替 5,000t
対応温度	冷蔵 0～10℃、冷凍 -38～-25℃、冷凍・冷蔵切替 -25～10℃
鮮度保持機能	CA(Controlled Atmosphere)冷蔵庫 2,800t、急速凍結庫、加除湿装置
省力化設備	自動温度制御、立体自動倉庫、移動ラック、IT活用等
省エネ・環境対策	外断熱工法、自然冷媒機器(二酸化炭素、アンモニアを使用)等
BCP対策	耐震Ⅱ類、津波避難場所機能、免震装置、非常用発電機等
総事業費	70億円
着工・竣工・開業	2018年8月着工、2020年4月28日竣工、2020年5月29日営業開始